

大阪に住まう・暮らす・愉しむをお手伝い **住まいのガイドブック**

volume

85

2021年冬号

おんじや

《特集》

大阪くらしの今昔館20周年
館長と歩く、魅力的なミュージアム

トピックス 水害時の避難について
-水害は起こる前にとにかく逃げる-

大阪市住まいのガイド
借りる・買う・建てる・建て替える
各種住宅施策のご案内

〈今月の表紙〉
シンポジウム「美しい日本の暮らし・秋」イベントで実施した花嫁行列。

人と住まいを結ぶ情報発信基地
大阪市立 **住まい情報センター**



企画展
「大大阪モダニズム」
(2018年)

大阪くらしの今昔館：
旧大阪市庁舎の
ステンドグラスと
シャンデリア



繁栄した大大阪時代の建物

住まいと建築・近代建築

大阪くらしの今昔館：
小西家住宅の模型
「モダン大阪」パノラマ遊覧・北船場」



大阪くらしの今昔館：
実物大の町家展示
「江戸時代の大坂」の菓屋



大阪くらしの今昔館
谷直樹 館長



時代の変遷と共に受け継がれる町家

テーマ1 住まいと建築・町家

大阪くらしの今昔館20周年 館長と歩く、 魅力的なミュージアム



1925年、大阪市は周辺地域を合併して人口はニューヨークやパリに次ぐ世界6位の大都市になった。大阪が近代都市に生まれ変わり、「大大阪時代」が始まる。大阪の都市建設を担うため、建築や土木の技術者を養成したのが関西工学専修学校（現在の学校法人常翔学園）である。同校の創設者の一人である片岡安は、關一市長の片腕として大阪の都市計画を立案した。その業績は「常翔歴史館」④で顕彰されている。同館と今昔館が共催した企画展「大大阪モダニズム」は、建築家片岡安の仕事に光をあてたものだ。この展覧会では「大大阪」を彩った建築や土木構築物に関する建築図面や絵画が展示された。

1923年の関東大震災後に3階座敷が撤去された。その後、戦災を免れ、2001年に重要文化財に指定された。現在は予約すると建物の内部が見学できる。店の間を改装した「旧小西家住宅史料館」②には、3階建て当時の模型がある。今昔館に1932年の北船場を再現した模型があって、小西家の外観が分かるのでこの間の変化が比較できます「谷」。

船場の「旧宗田家住居」は、1925年に建築された近代町家。昔の図面や写真を元に修復され、2018年、美しいガラス容器を扱うギャラリ「CuteGlass Shop and Gallery」③に魅了した。ここには伝統の良さと新しいデザインを融合させた鋭い感性がよみとれる。「多くの町家を取り壊されている中で、伝統意匠を残しながら現代の機能を組み入れた再生町家です」(谷)。

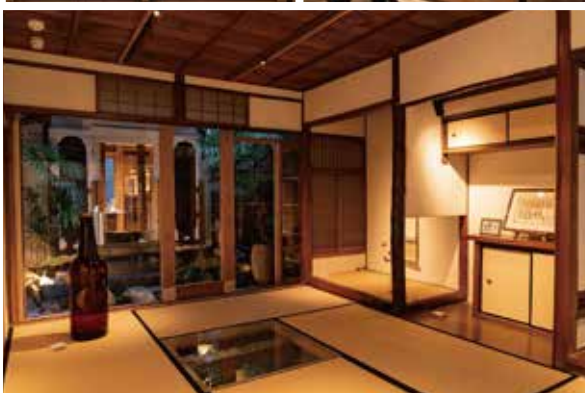
江戸時代に「天下の台所」と称され、蔵屋敷が立ち並び、米や物資が集まる金融と経済の中心だった大坂。大阪くらしの今昔館には1830年（天保初年）頃の町並みが実物大で再現されている。

大阪の町を歩けば、そこそこで歴史の痕跡にゆきあたる。最初は、くすりの町として栄える道修町。「田辺三菱製薬史料館」①は14階建ての新しいビルの2階にある。入るとすぐ、明治前期の田邊屋の店構えが、実物大で再現されている。店の間では、明治の中興の祖、12代田邊五兵衛のアニメが上映されている。この町家は今昔館の学芸員が監修・設計をしたもので、格子や敷居などの細部まで忠実に造っている。

道修町と堺筋との交差点に建つのが小西家住宅。同家は1903年に完成した表屋造りで3階座敷をもつ、豪壮な近代町家であったが、1911年の堺筋の拡張によって間口4間分が削られ、さらに



④常翔歴史館：
大阪市旭区大宮5丁目16-1 ☎06-6955-7762
(上) 常翔学園の歴史を物語る実物資料「過去の技術を形として残すことが、新しい技術開発に活かせるのです」と館長の松浦清教授(中)「関市長と片岡安が尽力したからこそ、今の御堂筋があるのです」と谷館長(下) 大阪工業大学・大宮キャンパス正面の校門は、片岡安・美施設計の「大阪市中央公会堂」を模した造り



③CuteGlass Shop and Gallery[旧宗田家住居]：
大阪中央区伏見町2丁目4-4 ☎06-6226-8360
(右) 外観は谷館長設計で当初の姿に修復。「格子が美しいんですよ」と小西智香氏。ガラス瓶1本から購入可能。(右) 奥の土蔵には社長の小西慈郎氏のコレクションが並ぶ(左) ガラス瓶を使ったステンドグラス(下) 座敷は当時のまま。ガラス床から地下の防空壕が覗ける



①田辺三菱製薬史料館：(要予約)
大阪中央区道修町3丁目2-10 ☎06-6205-5100
(右) 明治前期の平面図や古写真をもとに外観を復元(左上) 日本の医薬品産業の発展を支えた収蔵品(中央は「基準手動天秤」)(左下)「創業当時の軒下看板と大正時代の提灯です」と西巻吉昭氏



②旧小西家住宅史料館：(要予約)
大阪中央区道修町1丁目6-9 ☎06-6228-2847
(右) 次の間から床の間のある座敷をのぞむ(右下)「堺筋拡張後の再現模型です」と小西家当主の小西哲夫氏(左)くすりの町・道修町の象徴、表屋造りの建物(重要文化財)

大阪くらしの今昔館は、今年で開館20周年を迎えます。今昔館では住まいの歴史と文化をテーマに、常設展と企画展を通して、博物館や資料館、寺院や神社、そして個人コレクターの方々と交流を深めてきました。

今回は、今昔館館長である谷直樹が、「住まいと建築・暮らし・まちづくり」をキーワードに、大阪市内のミュージアムをセレクト。まち歩きをしながら、脈々と受け継がれる大阪の歴史と文化を再発見します。



企画展
「おまけ大行進」
(2007年)

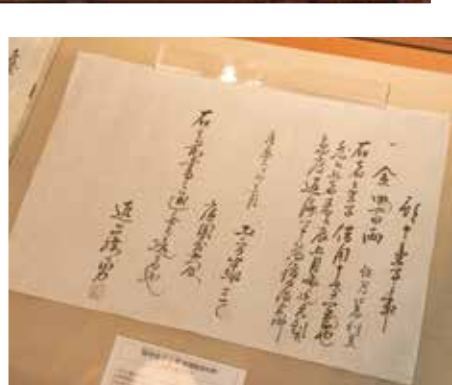
日々の暮らしを見つめ直す

テーマ2 暮らし

当たり前の日常の中にこそ、歴史を読み解くヒントがある。暮らしに関わるモノを通して、今につながる文化を再認識してもらうことも今昔館の使命である。今昔館の企画展「おまけ大行進」は、江崎グリコのおもちゃをはじめ、大阪に関連あるメーカーやコレクターによる玩具やフィギュアを一堂に集めた展覧会であった。「江崎記念館」では、江崎グリコの創業者・江崎利一氏の哲学を紹介しながら、商品の歴史を総覧できる。利一氏は「子どもの天職は、食べることと遊ぶことである」と考え、食べ物とおもちゃをセットにした健康菓子グリコを開発した。そこには知育の精神があり、その先見性には驚かされる。「彼は佐賀県人だが、大阪の風土の中でその才能が開花した人です。大阪でなければ生まれなかった文化がたくさんあるが、グリコもその一つです」(谷)。

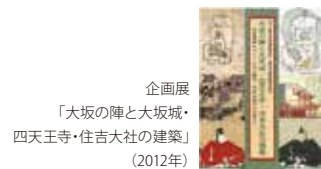


◎江崎記念館：(要予約)
大阪市西淀川区歌島4丁目6-5 ☎06-6477-8257
(上)創業当時使っていた真空釜(中)創業時から現在まで、約4000点のおもちゃを展示(下)「道頓堀」のグリコのネオン看板は、周辺の町の変遷も再現されています」と館長の石橋達二氏



◎四天王寺宝物館：
大阪市天王寺区四天王寺1丁目11-18 ☎06-6771-0066
(上)聖霊会の鳳太鼓。それぞれに龍、鳳凰の彫刻がみられる(右)「収蔵品は国宝・重要文化財を含めて3000点以上。年に3回、企画展示を行なう」と学芸員の渡邊廣一郎氏(左下)四天王寺の伽藍は大阪大空襲で焼失し、1963年に創建当時の飛鳥様式で再建された。中門から五重塔を望む

上	
左下	右下



企画展
「大坂の陣と大坂城・四天王寺・住吉大社の建築」
(2012年)



文化の殿堂としての寺院

住まいと建築・寺院

今昔館に寄贈された
加島屋・廣岡家の雛人形

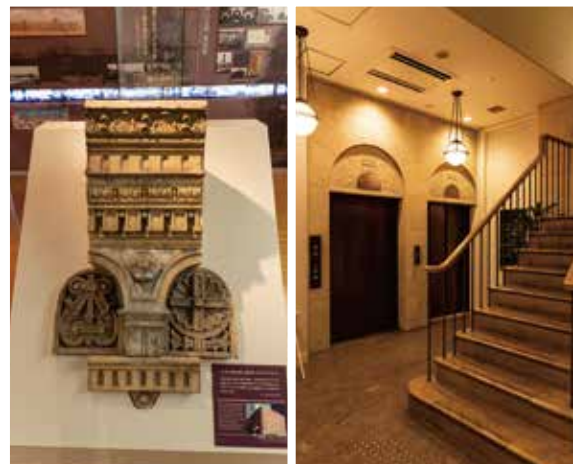


大大阪の建設に大きな役割を果たした土木建築業の一つが、大阪生まれのゼネコン・大林組である。「大林組歴史館」⑤は1926年竣工のルポンドシエルビル(大林組旧本店ビル)の3階にある。地下鉄大阪城天守閣などの建設当時の写真展示があり、大阪の土木建築業界の高い技術力がうかがえる。
商都大阪を華やかにデザインした建築家の一人が、ウィリアム・メレル・ヴォーリズである。彼は関西を中心に1500余りの建物を設計し、大阪でも大丸心斎橋本店や大同生命旧肥後橋本社などの作品がある。「大同生命メモリアルホール」⑥は、ヴォーリズが設計した旧館の意匠を現代建築に溶け込ませ、新たな魅力を放っている。「大坂では鴻池と並び称される豪商であった加島屋と大坂蔵屋敷との関係を示す展示資料は貴重です。それだけでなく建築空間の迫力も体感できます」(谷)。



◎大同生命メモリアルホール：
大阪市西区江戸堀1丁目2-1 ☎06-6447-6258
(上)旧本社ビルの光天井をそのまま移築したエントランスの天井(中)2階ホールには、大同生命の源流である加島屋(廣岡家)に関する歴史文書が展示(右)「連続テレビ小説『あさが来た』の主人公のモデル・廣岡浅子の特別展示も開催しています」と都清隆氏【左】土方歳三が廣岡久右衛門に宛てた400両の借借書

上	
中	
左下	右下



◎大林組歴史館：
大阪市中央区北浜東6-9ルポンドシエルビル3F ☎06-6946-4626
(右)大林組旧本店の雰囲気を感じてエントランス(左)ダイビル本館の壁面上部を彩っていたテラコッタタイル(中)1892年創業時の店舗の屋根を飾っていた鬼瓦(実物)中央に「大林」の文字(下)「時代を象徴する建物の歴史を楽しんでください」と荒田智康氏



企画展
「HOPE展 住吉・平野郷・田辺」
(2011年)



今につながるまちづくりの精神

まちづくり

テーマ3

自分たちが生活する場所を、自らの手で豊かにするまちづくり活動も、今昔館のテーマ。大阪市内でもユニークな活動として全国に知られているのが、平野のまちづくりである。中世末から「環濠自治都市」として栄えた平野郷は、武士の支配を受けず、町衆の自治のもとで繁栄した。26年間続いている「**平野町ぐるみ博物館**」は、有志で行われ、区内の15施設が無料で開放されている。大阪市も1999年から、大阪市HOPEゾーン事業で平野のまちづくりを応援し、今昔館の企画展「HOPE展 住吉・平野郷・田辺」につながった。

平野の守護神である杭全神社「**鎮守の森博物館**」は、環濠に囲まれた平野郷の北端に位置している。境内の連歌所は、町人による連歌会が開かれた、平野郷の文化を象徴する建物である。夏祭りは、300年近い歴史がある「だんじり曳行」でも知られている。「平野のだんじり祭りは、町人の祭りとして人と人をつないできた歴史があります。その伝統が現在のまちづくり活動につながっています」(谷)。

融通念佛宗の総本山・大念佛寺では、8月の第4日曜だけ「**幽霊博物館**」が開館する。展示品は、地獄に落ち苦しむ女性が極楽往生のための供養を願う巡礼者に手渡した「亡女の片袖」と「香台」、そして12幅の幽霊図。本堂は大阪最大の木造建造物である。

その他平野には、「**平野郷・町家ゾーン**」⑬、「**パズル茶屋**」⑭、「**歴史のまちなみ模型**」⑮など小さいけれど魅力的な博物館がある。

シリーズ企画展「昔のくらし」
「くらしの今昔展」
(2009年)



昭和の時代、子どもたちがワクワクしながら通った町の駄菓子屋さん。先に紹介した平野・全興寺の境内にある「**小さな駄菓子屋さん博物館**」⑩には、昭和20、30年代のメンコやビー玉などが並び、なんとも懐かしい気持ちになる。小学校の教室や家の内部を再現したミニチュア模型もある。平野の住人が、幼い頃を回想して制作したもので、細部まで精密に作られており、作者の想いがこもっている。

全興寺の門前にある「**新聞屋さん博物館**」⑪は、大阪市内でもっとも古い朝日新聞販売店「小林新聞舗」が運営する博物館である。地域向けの号外や商店街の店をマスにしたすごろくなど、地域ならではの情報を自主発行していた記録が展示されている。「大阪人は、暮らしを豊かにすることに、骨身を惜しまない。暮らしに根付いた情報発信を続けてきた新聞屋さんだからこそ、できた博物館ですね」(谷)。

家族の団らんの風景も、時代によって少しずつ変化してくる。今昔館のシリーズ企画展「昔のくらし」は、茶の間やキッチンの道具から、暮らしの文化をひも解くように心がけている。

昔と今だけでなく、暮らしの未来を展望できるのは、大阪ガスの「**ハグ(hug)ミュージアム**」⑫。現代の暮らしに根付くガスに関する展示に加えて、エコシステムやIoT(モノのインターネット)などの先進的な技術を取り入れた、災害などに備えた少し未来の暮らしが提示されている。これからの住まいや暮らしへの想像力が刺激される。「暮らしの断片をパズルのように、一つ一つ組み合わせることで立体的な理解となり、過去から現在への流れが体系的に分かるようになります」(谷)。



HOPEゾーン事業「まちなみ修景補助」を活用した(上)だんじり小屋、(下)地藏堂



⑩鎮守の森博物館(杭全神社)：
大阪市平野区平野宮町2丁目1-6 7 杭全神社内 ☎06-6791-0208
(右上) 杭全神社中門。奥に3棟の本殿が建ち、第二、第三本殿は室町時代の建立で、大阪市内最古の建造物(重要文化財)
(右下) 杭全神社内の連歌所(大阪市指定文化財)。通常は非公開(左) 杭全神社の境内にある樹齢800年の大楠(大阪府指定天然記念物)



⑪幽霊博物館(大念佛寺)：
大阪市平野区平野上町1丁目7-2 6 ☎06-6791-0026
(右) 日本最初の念仏道場である大念佛寺本堂(国の登録有形文化財)は1938年建立で、大阪府下最大の木造建造物(左) 山門は江戸時代(1706年)の建立(大阪市指定文化財)。幽霊博物館は8月の第4日曜日のみ



⑫ハグミュージアム：(要予約)
大阪市内西区千代崎3丁目南2-59
☎06-6586-3789
(上) 1階のエネルギーギャラリーではガスの製造工程を展示(中)「エネルギーの仕組みについて伝えています」と館長の佐藤尚巧氏(左)と山口由美子氏(右)(下) 屋上水田では、大阪市内の小学生と稲作体験学習を行う(ハグミュージアム提供)



⑬新聞屋さん博物館：(毎月第4日曜日開館)
大阪市平野区平野本町4丁目12-3
☎06-6790-0022
(上)「発注書や号外など、新聞屋ならではの展示が見所です」と社長の小林雅治氏(中) 1929年建築のモダンなアーチ型窓が特徴(国の登録有形文化財)。(下) 約200点の資料が所蔵しと並ぶ



⑭小さな駄菓子屋さん博物館：
大阪市平野区平野本町4丁目12-2 2 1 全興寺内 ☎06-6791-2680
(右上) 展示数は1000点以上(左上) 小スペースに大きな思い出が詰まる(下) 平野区在住・林史葉氏制作のジオラマ



⑮平野の音博物館：
大阪市平野区平野本町4丁目12-2 1 全興寺内
☎06-6791-2680
数秒ずつ100音が楽しめる「平野の音百連発」は必聴

「ええかげん」にやるのが大事

谷 「大阪市HOPEゾーン事業」でお目にかかって20年以上たちます。今回この町を巡って改めて共感を覚えまして。「平野町ぐるみ博物館」のように長く続く運営のノウハウをお伺いしたいです。

川口 よく驚かれるんですけど、総会は一度も開いたことないんです。会員会則もなし。各施設のメンテナンスも自費。施設は入場無料。事務局がやる唯一のことは、地図1枚を刷るだけ(笑)

谷 各人の采配に任せているんですね。民間だけで15か所運営していて、入場無料というのも珍しいですね。

川口 企画はすべてプロジェクト単位です。手を挙げた人がリーダーになって、やりたい人が集まって、終わったら解散。まちづくりは、義務とか責任でやると続かないんですよ。自分の仕事の合間にいつ来てもいい。いつ休んでもいい。会則もないから、興味があれば誰が来てでもいい。

谷 今昔館の市民ボランティア(町家衆)も、同じスタンスでやっています。興味を持って、関わり合い続けてもらうことが大事ですよ。

川口 コツが3つあってね、1つ目が「ええかげん」にやること。決められたことをやるだけではつまらないでしょ。失敗やアドリブにこそ面白さがあるんです。2つ目が「人のふんどし」。黄昏コンサートという音楽イベントを開催した時は、会場費も出演者ギャラも広報費も全部無料で、400名規模のイベントができました。各人が得意分野を担ってやれば無料でできるんですよ。補助金や行政に頼らなくても、住民だけでできるんです。3つ目は「おもしろい」やね。おもしろいは、関西の文化であり、大きなエネルギーの源です。

町の風を感じる



平野町ぐるみ博物館のマップ

川口 基本は「まちあるき」です。自分の町を再発見することは、眠っている文化を掘り起こす、宝探しみたいな作業やと思っています。でも一方で、一番難しいのは、住んでいる人に自分の町を知ってもらうことなんです。日々住んでいると自分の町は何もない、つまらないと思いがちなので…。だから、「平野町ぐるみ博物館」のマップもあってシンプルにしています。分からないから、人に尋ねる。尋ねられた人が実際に町を案内することで、初めてあちこちの魅力に気づくんです。平野は「感風の町」。風を感じる町という意味です。目に見えないものが実は一番大切。ぜひ町を歩いて、町に流れる風を感じて欲しいです。

谷 「まちあるき」は、なによりもリアルな空間体験ですよ。コロナ禍で人と人との間が疎遠になっている。こんな時代だからこそ、アフター・コロナの活動を展覧する必要があります。今昔館も博物館という立場から、人とモノと空間、そして町をつないでいく結び目として今後もその役割を果たしたい。これからも各施設と連携を強めて、おもしろいことを仕掛けていきたいものです。今日は、平野のまちづくり、町ぐるみ博物館のお話をお伺いして、多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。

平野のまちづくりから学ぶこと

対談

「町そのものを博物館」とする活動「平野町ぐるみ博物館」は26年間続く。大阪でまちづくりを進める秘訣と今後の今昔館について、平野の町づくりを考える会の川口良仁住職と今昔館の谷直樹館長が語ります。



大阪くらしの今昔館
谷直樹 館長



平野の町づくりを考える会
川口良仁 住職



⑩平野郷・町家ゾーン：
江戸期の商家(上)「藤岡家」(下)「粕谷家」
HOPEゾーン事業「まちなみ修景補助」が活用されている

谷 今、世界のまちづくりの事例を見ても、行政主導ではなく、住民が一体になって動くという流れがありますよね。

川口 2019年9月に、141か国の博物館の専門家が集まるサミット「国際博物館会議(ICOM)」が、日本で初めて京都で開催されました。その地域会場として、平野に白羽の矢が立ったんです。住民自治で体験型のまちづくりをしているのは、平野しかない。平野の心意気を見せよう！と、すべて自分たちで催しを準備して、終日、海外の方90名をもてなしました。茶道、連歌、生け花などの日本文化の催しに加え、夏祭りのだんじりも二台出しました。だんじり囃子で海外の方も踊ってくれて、住民との交流も自然と起こりました。古くから続くだんじり祭りの文化が、ここでも人と人を繋いでくれました。

谷 すばらしいですね。今はネットで情報収集できる時代ですが、それだけでは足りません。まちづくりも国際交流も、地に足をつけて、生身で体感するものが本物。こんな時代だからこそ、人が空間やモノを通して、相互理解していくことが必要で、今昔館としてもここにこだわっていきたくて考えています。

川口 だんじり祭りがあるから、平野には強い結びつきが、DNAとして残っている気がします。温故知新という諺(ことわざ)があります。その反対に、古いものを捨て去って新しいものを作ろうという考え方は、実は間違っています。歴史のないところには、本当の新しいさは生まれません。

谷 目先の経済からみると、文化は価値を生まないかもしれない。けれど、実はそれが重要で、文化がないと未来に繋がっていかないんですよ。

自分の町でしか、できないことをやる



⑨バスル茶屋：
大阪市平野区平野本町4丁目12-21
☎090-8141-5989
おもろ庵店主・黒田誠氏の古今東西のバズルのコレクションが並ぶ



全興寺境内の「赤い糸の縁結び」の前で対談。
「全興寺には体験できる仕掛けをあちこちに用意しています」と川口住職



ほとけのくに：
中央にステンドグラスの曼荼羅



地獄堂：
「地獄堂」にはQR付カードで入場する

各館から企画展のお知らせ

【四天王寺宝物館】
元三大師堂
～鬼となった高僧 良源祀る御堂の歴史～
期間：2021年1月1日(金)～
2月7日(日)

【常翔歴史館】
花園を彩った「協心」と「戮力」
～学園2高校のラグビー史～
期間：2020年12月7日(月)～
2021年1月29日(金)

【江崎記念館】
Glico のグッズ展
～販売促進キャンペーンからみた
Glicoの「創意工夫」～
期間：2020年11月2日(月)～
2021年3月30日(火)
※1970年代以降を紹介

【CuteGlass Shop and Gallery】
おいしい記憶
期間：2020年12月7日(月)～

※期間中の休館日は各館にお問い合わせください。

M A P



特集のバックナンバーはこちら



アンケートにご協力ください

トピックス

水害時の避難について

～水害は起こる前に
とにかく逃げる～



すまじょーくん

2021年3月11日で東日本大震災発生から10年を迎えます。突然の大雨による浸水を除いて、水害はある程度事前に発生時期を予測できます。日ごろから正確な情報を手に入れる手段を確保しておきましょう。今回は「大阪北区ジシン本」から避難行動についてご紹介します。

■水害発生タイムライン

●【警戒レベル4】で全員避難！！

お年寄りなど避難に時間や助けが必要な人は、【警戒レベル3】が発令された時点で避難を開始してください。

●淀川氾濫は上流部での雨の降り方に注意

上流部での降雨が淀川の流量に大きく影響するため、住んでいる地域だけでなく、上流部での今日、明日の雨の状況についても注意を払いましょう。

●内水氾濫では避難情報が発信されないことも

内水氾濫では、早ければ猛烈な雨が降り出してからほんの10分程度で道路側溝やマンホールから水があふれ出します。空が雷とともに真っ黒な雲に覆われたら要注意です。

●高潮は数日前からの台風情報に注意

高潮は大型台風（スーパー台風）が大阪湾に接近、上陸したあとに発生します。台風が発生する予報が出されたときは、その進路に気を配りましょう。

●津波避難は地震発生後すみやかに

南海トラフ巨大地震が発生した場合には、太平洋沿岸地域や大阪湾沿岸地域にも大津波警報が発表されます。大きな横ゆれを感じたら、情報に注意して、避難指示（緊急）の発令を待たずに素早い避難を心がけましょう。

現象	淀川氾濫	内水氾濫	高潮	津波
原因	集中豪雨	局地的大雨	スーパー台風	海溝型地震
5日前			台風発生	
3日前			台風5日後進路予報	
1日前			台風72時間後進路予報	
半日前			台風24時間後進路・規模予報	
2時間前	継続降雨（日量300ミリ）	大雨警報（浸水害） 洪水警報 【警戒レベル3】発令 強い積乱雲発生	高潮（特別）警報	地震発生 大津波警報 避難指示（緊急） 発令
60～10分前	淀川氾濫危険水位（レベル4） 【警戒レベル4】発令	ゲリラ豪雨発生		
災害発生	越流・破堤	道路冠水	越流・破堤	津波到達
±0時	淀川氾濫危険水位（レベル5） 【警戒レベル5】発令			地下への流入
30分後		地下への流入		
1時間後	地下への流入			
2時間後			地下への流入	
5時間後	想定区域全域浸水			

※気象の状況によって地下への流入が早まる場合があります。

警戒
レベル
3

高齢者等避難!!その他の人避難準備

- ◆避難に時間を要する人（高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難する
- ◆その他の人は、避難の準備を整える

警戒
レベル
4

全員避難!!

- ◆すみやかに避難する
- ◆避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難する

警戒
レベル
5

災害発生

- ◆すでに災害が発生している状況
- ◆命を守るために最善の行動をとる

※津波警報または大津波警報が発表された場合は、警戒レベルではなく、避難指示（緊急）として避難情報が発令されます。

北区ジシン本 編集・発行（大阪市北区役所・北区防災冊子企画編集部）

■情報を集めましょう



防災マップ



水害ハザードマップ



大阪市防災アプリ

トピックスのバックナンバーはこちら



大阪市立 住まい情報センター

を利用しませんか

相談専用電話 (06) 6242-1177

住まいに関するご相談をお受けしています **無料** **住まいの一般相談** **（随時／窓口相談・電話相談）**
公的賃貸住宅などの住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てるときの一般的注意点分譲マンション管理に関する情報や大阪市を中心とした住宅施策などに関するご質問に、窓口または電話で相談員が対応します。まず相談内容をお聴きして、問題点の整理・解決のために必要な知識や情報を提供します。英語、中国語、韓国・朝鮮語にも対応します。（外国語対応は17時まで）

■住まいの専門家相談（予約制／面接相談）

ご予約は30日前からお受けしています。
お申込みに際しては、相談員が一般相談で内容をうかがってから予約します。（日時が変更になる場合がありますので、ご確認ください。）

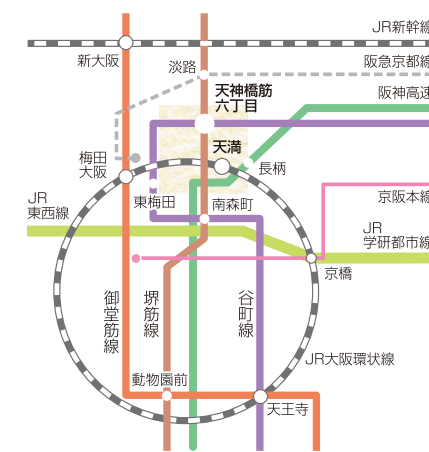
専門家相談日時	内 容
住まいの法律	概ね毎週土曜日（10時～13時30分） 借家・借地・土地・建物・相続等に関する法律上の相談（弁護士）
住まいの資金計画	隔週土曜日（10時30分～12時） 住宅取得やローン返済、高齢期の住まいと暮らしに関する資金計画等（ファイナンシャルプランナー）
建築・リフォーム	隔週土曜日（10時～13時） 建築設計や施工上の問題・建築関係法令等（建築士）
分譲マンション（法律）	概ね月1回日曜日（13時～16時） 管理組合運営・管理規約等に関する法律上の相談（弁護士）
分譲マンション（管理一般）	概ね毎週木曜日（14時～18時） 管理組合運営・管理規約・長期修繕計画等に関する相談（マンション管理士）

■連携機関による定期相談

（公社）大阪府建築士会による建築相談：
毎週日曜日13時～16時（受付は当日の12時30分～15時30分）
※12時30分に相談を受ける順番の抽選があります

近畿税理士会による税務相談（予約制）：
毎週土曜日（但し、2・3月を除く）13時～16時
（TEL06-6242-1177で予約受付）

インフォメーション



〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 TEL.06-6242-1160 FAX.06-6354-8601
おさか・あんじゅ・ネット <https://www.osaka-angenet.jp/>

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止等、やむを得ない状況により変更になる場合がございます。
※ご利用の際には、マスクの着用や、手指消毒、他の方との距離を最低1mに保つなど、対策にご理解、ご協力をお願いいたします。



住まいに関するご相談をお受けしています **無料** **住まいの一般相談** **（随時／窓口相談・電話相談）**
公的賃貸住宅などの住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てるときの一般的注意点分譲マンション管理に関する情報や大阪市を中心とした住宅施策などに関するご質問に、窓口または電話で相談員が対応します。まず相談内容をお聴きして、問題点の整理・解決のために必要な知識や情報を提供します。英語、中国語、韓国・朝鮮語にも対応します。（外国語対応は17時まで）

3階 ホール



定員：机利用の場合／150席
椅子のみの場合／300席
※控え室もあります。

住まいのライブラリー



5階 研修室



定員：机利用の場合／54席
椅子のみの場合／70席
※研修室は区切って、少人数でもご利用いただけます。

※大阪府の感染拡大予防のガイドラインに基づき、使用人数を変更しております。詳しくはお問い合わせください。

交通アクセス

- Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅下車3号出口直結
- JR大阪環状線「天満」駅から北へ約650m
- お車でお越しの場合は阪神高速道路「守口線」長柄出口 都島通り経由、約500m

開館時間

- 4階 住情報プラザ（相談・ライブラリー）
平日・土曜日／9:00～19:00
日曜日・祝日／10:00～17:00
- 3階 ホール／5階 研修室・会議室
平日・土曜日／9:00～21:00
日曜日・祝日／9:30～17:00

休館日

- 火曜日（祝日の場合は翌日）
- 祝日の翌日（日曜日、月曜日の場合を除く）
- 年末年始（12/29～1/3）
※上記のほか臨時休館する場合があります。



借りる・買う・建てる・建て替える

大阪市住まいのガイド

分譲マンション
管理組合の皆様へ

大阪市マンション管理支援機構にご登録いただくと、
マンション管理に役立つ情報誌などを無料でお届けします！

大阪市では、管理組合による分譲マンションの適正な維持管理を支援するため、大阪市住まい公社・(独)住宅金融支援機構といった公共団体等、大阪弁護士会・(公社)大阪府建築士会などの専門家団体、分譲マンション関連の民間事業者団体等と連携・協力し、大阪市マンション管理支援機構を設立しています(図1)。同機構にご登録いただいた管理組合様には、マンション管理に役立つ情報誌「らいふあつぷ」(図2)などの冊子やマンション管理に関するイベントの開催案内(図3)を無料でお届けしており、現在、大阪市内の1,300を超える管理組合様にご登録いただいています。マンション管理にお悩みの管理組合様は、この機会にぜひ同機構へご登録ください。

“快適で安心なマンションライフをサポート”
それが大阪市マンション管理支援機構の役割です。

公共団体等

専門団体

民間事業者団体

大阪市

大阪市住まい公社

(独)住宅金融支援機構 近畿支店

大阪弁護士会

大阪司法書士会

大阪土地家屋調査士会

(公社)大阪府不動産鑑定士協会

近畿税理士会

(公社)大阪府建築士会

(一社)マンション管理業協会 関西支部

(一社)不動産協会 関西支部

(一社)マンションリフォーム推進協議会 近畿支部

大阪ガスマーケティング(株)

大阪市マンション管理支援機構

主な事業内容

●セミナー・シンポジウムなどの開催

●登録管理組合などへの情報誌「らいふあつぷ」の提供

●マンション管理の情報収集・研究

●大阪市立住まい情報センターが行う相談業務のサポート

●相談事例の調査研究

登録

マンション管理組合

マンション居住者

住まいに関する相談窓口

大阪市立住まい情報センター 4F 住情報プラザ

図1 大阪市マンション管理支援機構 組織概要

図2 らいふあつぷ

図3 イベントの開催案内

問合せ:大阪市マンション管理支援機構事務局 TEL:06-4801-8232 FAX:06-6354-8601

住まいを借りる(公的賃貸住宅等)

●市営住宅

・住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。原則として大阪市内にお住まいの方が対象です。
・収入基準は、一般世帯で 158,000 円以下、高齢者・障がい者世帯等で 259,000 円以下(月額所得額)となります。

※令和2年4月～6月に実施予定としていた入居者募集については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から住宅設備系補修資材の不足に伴い、募集住戸の補修実施の目処が立たない状況であるため中止しましたが、その状況が改善し、募集住戸の補修を実施できる目処が立ったため、募集日程を再調整のうえ、入居者募集を再開しております。

募集種別(募集時期)	概要	お問い合わせ
定期募集等【抽選】 (例年7月上旬、2月上旬)	収入・同居親族等の条件があるほか、一般世帯・新婚・子育て・単身者向け等、各申込区分により申込資格を設定しています。一部の申込区分では、府内居住、市内在勤の方も申込みができます。(令和2年度:令和2年9月[終了]、令和3年2月上旬[予定])	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7021
福祉目的募集【抽選】 (例年5月上旬)	ひとり親(配偶者のない方とその子ども(20歳未満)のみで構成する世帯)、高齢者(60歳以上)および障がい者(障がい者手帳(身体・精神・療育)等を所持していること)の方々が対象であり、各申込区分により申込資格を設定しています。申込書類は各区保健福祉センターで配布します。(令和2年度:令和2年11月[終了])	ひとり親住宅／大阪市子ども青少年局　子ども家庭課 ●TEL:6208-8035 ●FAX:6202-6963 高齢者向け住宅／大阪市福祉局　高齢福祉課 ●TEL:6208-8060 ●FAX:6202-6964 障がい者向け住宅／大阪市福祉局　障がい福祉課 ●TEL:6208-8081 ●FAX:6202-6962
随時募集【先着順、一部抽選】	定期募集等において、応募者が募集戸数に満たなかった住戸について、先着順で随時募集を行っています。募集住戸の追加があり、追加住戸については、抽選で入居者を決定します。例年、年3回(4月・8月・12月)(令和2年度:令和2年8月[終了]、令和2年12月[終了])	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7021

●中堅層向け住宅

公営住宅の収入基準を超えている方等、中堅所得者向け賃貸住宅(先着順)です。大阪市外にお住まいの方も申し込みができます。

住宅種別		お問い合わせ	管理者	お問い合わせ
大阪市管理	市営すまいりんぐ(子育て応援型)・市営すまいりんぐ・市営特定賃貸住宅・市営再開発住宅	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-7012 ●FAX:6882-7021	大阪府	大阪府営住宅藤井寺管理センター ●TEL:072-930-1093
大阪市住まい公社管理	公社一般賃貸住宅・公社すまいりんぐ・民間すまいりんぐ(公社管理)	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-9000 ●FAX:6882-7021	大阪府住宅供給公社	大阪府住宅供給公社募集グループ ●TEL:6203-5454
民間指定法人管理	民間すまいりんぐ(指定法人管理)	大阪市都市整備局　特優賃受付窓口 ●TEL:6882-7055 ●FAX:6882-7031 ※入居申込は各法人を案内させていただきます。	都市再生機構(UR都市機構)	UR梅田営業センター●TEL:6346-3456 空室情報フリーダイヤル:0120-23-3456

●民間賃貸住宅

制度名称	制度概要	お問い合わせ
セーフティネット住宅登録制度	低額所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保に特に配慮を要する方の入居を拒まない住宅として、大阪市内に登録された民間賃貸住宅を、以下のサイトで検索できます。〈セーフティネット住宅情報提供システム〉https://www.safetynet-jutaku.jp/guest/index.php	大阪市都市整備局　安心居住課 ●TEL:6208-9222 ●FAX:6202-7064
サービス付き高齢者向け住宅登録制度	高齢者が安心して暮らすことができる住宅として、大阪市内に登録された住宅を、以下のサイトで検索できます。〈サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム〉https://www.satsuki-jutaku.jp/-search/index.php	大阪市都市整備局　安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度	高齢者、低額所得者、障がい者、外国人、子育て世帯等の入居を拒まない賃貸住宅と、その仲介を行う協力店、入居の支援を行う団体や相談の窓口等を、以下のサイトで検索できます。〈あんぜん・あんしん賃貸検索システム〉http://sumai.osaka-anshin.com/	大阪府住宅まちづくり部　都市居住課 ●TEL:6210-9707 ●FAX:6210-9712

紹介している大阪市の公的賃貸住宅や各種制度について、より詳しくお聞きになりたい方はお気軽にお問い合わせください。

住まい情報センター
相談専用電話
TEL:6242-1177

※大阪市の市外局番は「06」です。※各事業の詳細は、おおさか・あんじゅ・ネット(https://www.osaka-angenet.jp/)および大阪市ホームページでご確認ください。
※補助、助成事業の利用には条件があり、事前協議が必要ですのでお早めにご相談ください。なお、予算額に達し次第受付を終了しますのでご注意ください。

住まいを買う・建てる・建て替える・解体する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度	初めて住宅を取得する、新婚世帯・子育て世帯を対象に住宅ローンの利子の一部を補助します。なお、予算の範囲内で先着順に受付します。申し込みにかかる資格要件につきましては窓口までお問い合わせください。	大阪市都市整備局　住宅支援受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6356-0805 ●FAX:6356-0808
大阪市子育て安心マンション認定制度	‘子育てに配慮した仕様’と‘子育てを支援する環境’を備えた良質な民間の新築マンションを認定し、その情報を大阪市ホームページ等で広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局　安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪市防災力強化マンション認定制度	耐震性や耐火性等建物の安全性に関する基準に適合することに加え、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局　まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
大阪市エコ住宅普及促進事業	断熱性能が高く、太陽光発電や省エネ性能に優れた設備などを備えたマンション等を「大阪市エコ住宅」として認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局　耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877 ※優先地区等のエリアの詳細はお問合ください。一部エリアでは、補助要件を緩和しています。※その他、建替え相談や従前居住者の方へ家賃補助制度等も行っています。
民間老朽住宅建替支援事業〈タテカエ・サポーティング21〉	隣地を取得した戸建住宅への建替建設費補助	優先地区において、未接道敷地や狭小敷地を解消するために隣地を売買で取得した敷地において、昭和56年5月31日以前建築の建物を戸建住宅に建替える場合、設計・解体費用等の一部を補助します。
	狭い道路に面した古い木造住宅の解体費補助	優先地区において、幅員4m未満の道路に面する昭和25年以前建築(重点整備エリアにおいては、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築)の木造住宅を解体する場合、解体費用の一部を補助します。
防災空地活用型除却費補助制度	優先地区内の一部エリア等において、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築の木造住宅を解体し、跡地を災害時の避難等に役立つ防災空地として活用する場合、解体費用及び空地整備費用の一部を補助します。 ※本制度を活用して防災空地を整備した場合、土地の固定資産税・都市計画税が非課税になります(整備の翌年以降)。	大阪市都市整備局　密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9234 ●FAX:6202-7025

住まいを改修する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市耐震診断・改修補助事業	一定の要件を満たす戸建住宅等の所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。また、耐震事業者の紹介を行います。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877
マンション耐震化緊急支援事業	一定の要件を満たすマンションの所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。	
ブロック塀等撤去促進事業	道路等に面した一定の高さ以上のブロック塀等の撤去および軽量フェンス等の新設工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局　民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228 ●FAX:6202-7064
大阪市子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業	LDK化や断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事等、子育て世帯等の入居に資する改修工事を行う民間賃貸住宅等のオーナーに対して、改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局　まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
大阪市地域魅力創出建築物修景事業(修景に関する無料相談など)	建物の修景の促進により地域魅力の創出を図るため、「修景相談」と「修景補助」を実施するとともに、修景された建物等を活かした「魅力発信等」に取組んでいます。まずはお気軽に建物の修景についてご相談ください(無料)。	大阪市都市整備局　防災・耐震化計画グループ ●TEL:6208-9622 ●FAX:6202-7025
大阪市空家利活用改修補助事業	空家の利活用に向けた良質なストックへの改修を促進するため、住宅の性能向上に資する改修や地域まちづくりに資する用途への改修に要する費用等の一部を補助します。	各区保健福祉センター 保健福祉課
高齢者住宅改修費給付事業	介護保険制度の居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給を受ける方が属する世帯等で、生活支援・介護予防の観点から真に住宅改修が必要と認められる世帯の住宅改修費用の一部を給付します。	
重度心身障がい者(児)住宅改修費給付事業	在宅の重度の身体・知的障がい者、難病患者等の方が、日常生活上の障がいの除去または軽減に直接効果のある改修工事を行うとき、工事費用の一部を給付します。所得制限があります(ただし、介護保険制度が適用される方は本制度の対象となりません)。なお、必ず事前に申請が必要です。	

分譲マンション管理組合の方へ

制度名称	制度概要	お問い合わせ
分譲マンションアドバイザー派遣制度	分譲マンションの適正な管理等を支援するため、管理組合等の勉強会の講師として、一級建築士や弁護士などの専門家を無料で派遣し、建物の技術的な内容や法的な問題等に関して、一般的なアドバイスをを行います。	予約申込　住まい情報センター ●TEL:6242-1177(相談専用)
分譲マンション長期修繕計画作成費助成制度	長期修繕計画の作成又は見直しを行う管理組合に対して、作成費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3　補助限度額:1件当たり30万円	大阪市都市整備局　住宅政策グループ ●TEL:6208-9224 ●FAX:6202-7064
分譲マンション再生検討費助成制度	再生(改修、建替え等)に向けた検討を行う管理組合に対して、検討費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3　補助限度額:1回当たり60万円	
大阪市マンション管理支援機構	公共団体や、建築、法律等の専門家団体等が連携して、分譲マンションの管理組合を支援します。登録組合には、セミナーの開催案内や情報誌等を無料で送付します。	大阪市マンション管理支援機構事務局(住まい情報センター4階) ●TEL:4801-8232 ●FAX:6354-8601

12

11

MESSAGE BOARD

メッセージ
ボード

建物の修景のご相談を お受けしています

無料

外観の特徴を活かした改修や、まちなみに配慮した整備等、市内の建物の「修景」に関することならどんなことでも。まずはお気軽にお電話で問合せください。

■ 修景相談の例

- ・まずは大阪市内の修景事例をできるだけたくさん知りたい。
- ・室外機や看板を整理して、すっきりしたファサード(建物の正面の外観)にしたい。
- ・建物の外観の特徴が引き立つようにライトアップで演出したい。
- ・建物全部を修景するのは大変そう。ちょっと直すだけでもいいのかな？

【お問い合わせ】
大阪市都市整備局まちなみ環境グループ
TEL:06-6208-9631



■ 修景の事例



大阪くらしの今昔館



※新型コロナウイルス感染症拡大の防止等で、会期が変更になる場合があります。
「大阪くらしの今昔館」ウェブサイト等でご確認ください。



大阪くらしの今昔館ニュース
バックナンバーはこちらから

企画展

■くらしと漆工

古来より漆は日本人の暮らしや文化と密接に結び付いてきました。実用性と美観に優れた漆は、日用品としての食器類をはじめ、ハレの日の装身具や調度、建築装飾に至るまで現在も幅広く用いられています。今昔館では初となる「漆工」をテーマにした展示を通し、長い歴史と共に育まれてきたその魅力に迫ります。

- ◆会 期：2020年12月19日(土)～2021年2月14日(日)
- ◆入 館 料：企画展のみ300円



草花蒔絵引盃



まなびプログラムを
配信中

■博覧会の世紀1851-1970

博覧会の歴史は1851年のロンドン万博に遡り、その後、欧米各国で開催されるようになります。日本においても明治以降、多種多様な博覧会が開催されてきました。時代とともに博覧会の内容や展示手法は進化し、開催目的や性格も大きく変わっていきました。博覧会はその時代における社会的な要求や世相を映す鏡であったといえます。本展では、19世紀から20世紀の博覧会を俯瞰し、特に大阪を会場とした博覧会に焦点を当て、大阪の人々の生活スタイルや娯楽、都市文化に与えた影響を考察します。また、3月20日(土・祝)に橋爪紳也氏による講演会を開催します。

- ◆会 期：2021年2月20日(土)～4月4日(日)
- ◆入 館 料：企画展のみ300円



第5回内国勲業博覧会毎日新聞社発行「明治三六年之大阪」



大正奉祝交通電気博覧会鳥瞰図



'70大阪万博ペンナント

企画展示室

大阪市立 住まい情報センター セミナー・イベントガイド 2021年

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、定員の変更やセミナーを中止する場合がございます。その場合は「おおさか・あんじゅ・ネット」等でお知らせします。

1 住まい情報センター 主催イベント

住まい情報センターが主催するセミナー・イベントです

- 住まいの基礎知識
- ◎住まいを購入する(全7回)
- 第1回 自分にあった住まい探し(延期開催)
- 「はじめての住宅購入
～不動産購入の流れと注意ポイント～」

- 日時：1月16日(土) 13:30～15:30
- 場所：3階ホール
- 講師：渡邊和英(一社)大阪府宅地建物取引業協会研修インストラクター)
- 定員：50名(申込先着順)

- 大阪くらしの今昔館
- 企画展「博覧会の世紀1851-1970」講演会
- 「博覧会の大阪 1903年第五回内国勲業博／1970年大阪万博／2025年大阪・関西万博」

- 日時：3月20日(土・祝) 14:00～15:30
- 場所：3階ホール
- 講師：橋爪紳也(大阪府立大学研究推進機構特別教授)
- 定員：100名(申込先着順)

2 住まい関連イベント

住まい情報センターと住まい・まちづくりの専門
家団体等が共催するセミナー・イベントです

- タイアップ+Plusセミナー
- これからの住まいを考えよう [オンライン開催](#)

- 日時：1月23日(土) 13:30～15:00
- 講師：NPO法人もく(木)の会メンバー
- 定員：20名(申込先着順、最小催行人数(3人)に満たないとき、セミナーの実施を中止します。)
- 申込締切：1月9日(土)
- 団体：NPO法人もく(木)の会

参加申し込み方法

- ホームページからの申し込み
申し込みは開催日の約2カ月前からになります。

おおさか・あんじゅ・ネット

▶https://www.osaka-angenet.jp



- はがきまたはFAXで申し込み
記入事項を明記し、下記の住所、FAX番号へお申し込みください。
〒530-8582(住所不要) 大阪市立住まい情報センター4F FAX:06-6354-8601
- 記入事項：イベント名、住所、名前(フリガナ)、年齢、参加希望日、電話番号、手話通訳希望の有無、個別相談希望の有無など

- 参加費は特記以外無料、要事前申し込み。申込先着順の場合は、定員になり次第締切。抽選の場合は、締切後も定員に満たない場合は引き続き募集します。
- 申し込みの際の個人情報、主催者で適切に管理し、イベントに関する連絡、統計データおよびイベント保険(必要な場合)への加入にのみ利用します。
- 午前8時45分時点で、「暴風警報」が発令されている場合は中止とさせていただきますが、セミナー開始3時間前までに解除された場合はセミナーを実施します。

- 手話通訳をご希望の方は開催2週間前までにお問い合わせください。

【注意】一部のイベントを除き、参加証の発送はありません。
「申込先着順」のイベントにお申し込みいただいた場合は、イベント開催当日、直接会場にお越しください。「抽選」の場合に限り、はがきがEメールで当落をお知らせします。

以下、広告です。広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。「広告掲載」のお問い合わせは、大阪市立住まい情報センター TEL: 06-6242-1160

大阪市住まい公社の賃貸住宅

やちん、らくちん。入居者募集中

新婚家賃補助制度対象物件

ホームセキュリティで24時間安心・安全な暮らし

敷金・礼金
仲介手数料

補助金額

補助期間

0円 月額最大2万円 4年

キャンペーン開催中!

特典1 家賃キャッシュバック

特典2 子育てキャッシュバック

特典3 敷金不要! → 0円
家賃の3か月分

特典4 駐車場割引
コーシャハイウェイ限定
敷金・使用料3か月分 → 0円

※キャンペーン及び新婚家賃補助制度を受けるには
当社の指定の保証会社のご利用が必要となります。
～大阪市住まい公社は大阪市住宅供給公社の登録です～

家賃補助付賃貸マンション

お気軽にお問い合わせください。

大阪市住まい公社

募集担当 06-6882-9000

広告有効期限2021年3月26日

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策のため、ご利用の際には、マスクの着用や、手指消毒、他の方との距離を最低1mに保つなど、対策にご理解、ご協力をお願いいたします。



帆掛船時絵螺鈿重箱 (京都国立博物館蔵)

大阪くらしの今昔館 
news

volume.78

行って、見て、発見!

廻船問屋の

時絵重箱

上田 祥悟
(大阪くらしの今昔館学芸員)

江戸時代の和泉国(現大阪府)貝塚は浄土真宗願泉寺の住職、ト半家が地頭として治める寺内町でした。十八世紀初頭の貝塚には、小舟を用いて近国の穀物や肥料などを売買する問屋がありましたが、やがてト半家の後援により、遠方との取引に力を入れる商家が登場しました。天保六(一八三五)年にト半家より「広い海」という苗字を授かり、主に米穀を扱う廻船問屋として開業した、廣海惣太郎家以下、廣海家もそうした商家の一つでした。

十九世紀、日本海から瀬戸内海を通じて畿内に至る西廻り航路において、輸送業と商業を兼業した商人の船を一般に北前船と呼びます。廣海家は近港の廻船問屋よりも船主に有利な条件を提示することで、越後国(現新潟県)南部の北前船をはじめとする多くの船を貝塚湊に呼び込みました。創業当初は主に米穀を扱っていましたが、次第にその中心を肥料取引に移し、近代には貝塚を代表する肥料商として地域経済を支えました。また一八五〇年代には遠方の取引先に加えて、大坂や堺の船持商人とも取引を行うなど、日本各地における商品生産の拡大に流通面で大きく貢献しました。

今回紹介する《帆掛船時絵螺鈿重箱》(京都国立博物館蔵)は、廣海家の広大な敷

地に現存する四棟の土蔵(登録有形文化財)に収められていた、膨大な数にのぼる歴史資料のうちの一点です。江戸時代に製作された四段重ねの重箱で、蓋裏と各段の底部に設けられた二本の棧によって重ね合わせる構造となっています。重箱の外面には黒漆を背景に金銀の時絵を主体として、大波の中を進む三隻の帆掛船がダイナミックに描かれており、また船体や帆の一部にはきらびやかな螺鈿を用いることで、全体の色調にアクセントが加えられています。廣海家に伝わった絵画や工芸品の中には、本作のように波や船を主題にした作品がいくつかあり、これらはまさに廻船問屋としてのアイデンティティを象徴していたと言えます。重箱の内部は朱塗りで仕上げられていますが、後に塗り直したような箇所が見られることから、修復を加えつつ、世代を超えて大切に使われてきたことが窺えます。

本作は令和二年十二月十九日から令和三年二月十四日までの間、大阪くらしの今昔館主催の企画展「くらしと漆工」にて展示されています。貝塚の豪商廣海家で代々受け継がれてきた、この魅力溢れる重箱を是非会場でご覧ください。

(参考図書: 京都国立博物館編『貝塚廣海家コレクション 受贈記念特別展 豪商の蔵―美しい暮らしの遺産―』京都国立博物館二〇一八年)